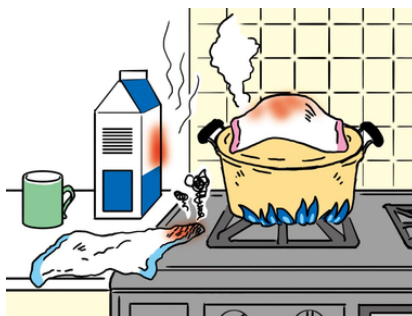


コンロ火災を防げ

古いガスコンロは
SIセンサーコンロへの取替を推奨します！

コンロ火災の原因は、使用放置や清掃不良などの不注意によるものがほとんどです。「うっかり」や「しまった」をなくすためには、日頃からの「習慣」や「使用方法」が大切です。また、ガスコンロだけでなくIHクッキングヒーターも使い方を間違えると火災に繋がる恐れがあるため、日頃から次のことに注意しましょう。

- ①調理中にその場を離れない ②近くに燃えやすい物を置かない ③グリル庫内は定期的に清掃する



コンロの火災や事故から身を守るため、被害を最小限に抑えるためには、私たちの「うっかり」や「しまった」をカバーしてくれる安全機能が備わった「**SIセンサーコンロ**」の設置が効果的です。



「SIセンサー」とは？

「SIセンサー」マーク

「SIセンサー」とは、SAFETY「安全」、SUPPORT「便利」、SMILE「楽しく」を約束する、INTELLIGENT「賢い」センサーを全てのバーナーに搭載した**ガスコンロ**のことです。

2008年10月以降家庭用のガスコンロは全口にSIセンサーの搭載が義務化され、3つの安全機能(**調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置・コンロ消し忘れ消火機能**)を標準でつけることになりました。

「調理油過熱防止装置」とは？

調理油過熱防止装置は、ガスコンロの中心（鍋底に触れる支柱の部分）にあり、鍋底の温度を常感知して、温度を一定に保ったり、火加減を自動で制御したりする装置です。これにより、異常な温度上昇を検知した際に速やかに消火します。

「立ち消え安全装置」とは？

立ち消え安全装置は、バーナー部分の横にある小さなつまみのようなものです。ガスコンロの火が消えてしまったときに、それを検知して自動的にガスを止める装置です。これにより、煮こぼれや風などによって意図せず火が消えてしまった際のガス漏れを防ぎます。

「コンロ消し忘れ消火機能」とは？

コンロ消し忘れ消火機能は、タイマーとは別に備わっており、ガスコンロの点火後一定時間が経過すると自動で消火され、火災を防止する機能です。これにより、うっかり消し忘れた際も自動で消火することが可能です。

【お問合せ】 所 属 嶺北消防本部予防課

連絡先 TEL：0776-51-8435 e-mail：yobou@reihoku-fd.jp